

学校概要

創立 50 周年	学校長 中澤 道則	副校長 高木 聡子	学期 2 学期制	児童・生徒数 687 人
学級数 一般級: 20 個別支援級: 3		主な関係校: 万騎が原中、万騎が原小、二俣川小、南本宿小		

学校教育目標

- 自ら学び、自分の思いを成し遂げる子を育てます。(知)
- 互いのよさを認め合い、心豊かな感性をもつ子を育てます。(徳)
- 健やかな心と体を持ち、共に生きる子を育てます。(体)
- 友だち・まち・自然とのふれあいを大切にし、積極的に行動する子を育てます。(公)
- 伝統や文化を大切にし、社会に進んでかかわっていく子を育てます。(開)

ゆめさち教育プラン『夢と希望のさち小をめざして ～ まちとともに歩む 心豊かな生き方を大切にした学校づくり ～ 』

学校の特徴

- 毎年40名程の児童数の減少が見られるが、それでも旭区24小学校の中では大規模校である。
- 最寄り駅が南万騎が原駅・二俣川駅・希望が丘駅と学区が広く、丘・谷・丘・谷・丘という起伏の多い地形で、児童はその中央の丘に位置する本校(海拔62m)に、幹線道路を横断し、或は道路に沿って集団登校してくる。
- 児童の異学年交流を進めるために「ペア学年」を組み、年間を通した様々な活動を計画実施している。
- 児童数が多く個別支援が必要な児童も多く、ニーズに合わせて可能な限り取り出し指導や入り込み指導を行っている。
- 市学習状況調査からは、概ね各学年の学力は市平均並みであるが、より一層の学力の向上と体力面の能力アップを図りたい。

学校経営中期取組目標

- 学校教育目標を具現化するために、教職員一人ひとりがその実行者としての自覚を持ち、魅力ある信頼される学校づくりに取り組みます。
- 多様性、切磋琢磨、団結協調した時の力強さなど大規模校のよさを活かしながら、『夢と希望のさち小』をめざします。
 - ・児童が「まちとともに歩む」ために、地域へ飛び出し、地域を知り、地域を愛し、児童の「ふるさと意識」を高めます。
 - ・児童が「心豊かな生き方を大切にする」ために、児童一人ひとりの「確かな学力・体力」の獲得と、「良心」の強化を図っていきます。
- 児童に寄り添うことを第一として、複数の目で児童のとなえを確かなものとしていきます。
- 温かい日々の会話から、学び合い啓発し合い、風通しの良い強い絆と信頼関係に基づく成長する「チームさちが丘」(教職員集団)を創ります。

小中一貫教育の取組

万騎が原中	ブロック	万騎が原中学校・二俣川小学校・万騎が原小学校・南本宿小学校・さちが丘小学校
9年間で育てる子ども像	主体的に行動し、自ら学び、互いに高め合うことのできる子ども	
自校の具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> ・上記、子ども像を実現し、新しい学習指導要領に則った「じっくり考え、高め合い、次につなげる確かな学び」を意識した、対話的な授業創りに取り組む。 ・小中で互いの授業を見合うことでそれぞれの特徴や良さを知り、正しい認識をもつ。 ・小小連携にも触れながら、新しい学習指導要領に則った小中一貫ブロック内でのカリキュラムマネジメントを推進する。 	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	自分の思いや考えを意欲的に表現しながら、学習に興味・関心をもって主体的に学ぶ力、それを活用する力の育成をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> ・「じっくり考え、高め合い、次につなげる確かな学び」の実現に向けて、子ども達が主体的に取り組むことのできる学習の在り方について研修を進める。 ・新学習指導要領の実施に向けて、道徳科・特別活動等のカリキュラム・マネジメントを進める。 ・特別な教育的支援が必要な児童への学習指導の在り方について研修を実施する。
豊かな心	全ての教科領域学習及び学校生活を通して、自他を大切にし、善悪の判断ができ、人間としてよりよい生き方を求め実践しようとする心情と態度を育てていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の実践を踏まえ、道徳科においてより多様な指導を行えるように研修を行う。また学習状況のポートフォリオを通して適正な評価に努める。 ・ペア学年を軸とした異学年交流、地域と連携した学習活動をより一層進め、多様な相手や様々な場面においてより豊かに、また深く他の人や場とかかわることができるようになっている。
健やかな体	適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、運動に親しみ体力を向上させながら、明るく楽しい生活をおくるようにしていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・体力づくりは、体育委員会の取り組みなどを通して一定の成果をあげている。今後、より多くの子ども達が、より多様な形で体力づくりに取り組めるようにしていく。 ・体育委員会、保健委員会、児童会の活動を充実させるとともに、養護教諭・学校栄養士と連携した学級活動(2)・カ、の指導を通して健康な生活への意識を高める。【継続】
児童生徒指導	全ての教育活動の基本として「あいさつ」の実践を推進し、コミュニケーション能力を高めることで他者理解を深めさせ、社会規範意識を定着させていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶などの基本的な生活習慣については概ね行動化することができているので、より自律的に行うことができるよう、継続的に指導していく。 ・規範意識についても同様で、より自律的に規則を守れるように継続的に指導していく。 ・学年、ブロックを核として、より一層、組織的な児童支援体制を構築する。
特別支援教育	全教職員で児童理解を深め、保護者や関係諸機関とも連携し、個別対応が必要な児童に対して、安心・安定した学校生活がおくれるよう支援を進めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・一般学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童への支援の在り方について、外部機関とも連携しながら教職員個々人の対応力を高める。 ・引き続き月1回、全教職員出席の児童理解の時間を設け、情報交換を密にして児童の状況の共通理解を図ることで全教職員で協働して組織的に児童指導に取り組めるようにする。
地域連携	学校側からの発信・求めだけでなく、地域の側の希望や要望を真摯に受け止め、相互に有益なよい関係を創っていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・創立50周年実行委員会を中心に、今年度迎える創立50周年記念事業を地域と協働して推進・実施する。 ・各学年の教育活動並びに学校行事において、創立50周年を意識した「まち」と協働した取り組みを進める。 ・地域教育実践推進校としての道徳科の学習を中心に「誰もが、安心して、豊かに」生活できる学校づくりを具現化する。
人権教育	学校における「いじめ防止基本方針」に基づく取り組みや、人権週間の取り組み、道徳科の指導を通して「誰もが、安心して、豊かに」生活できる学校づくりを進めていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほめる指導」を核として、親和的でない学級づくりを推進する。 ・「いじめ防止基本方針」に基づく教職員研修を通していじめの未然防止、早期発見・早期対応を図り、「いじめのない学校」を具現化する。
人材育成・組織運営	キャリアステージに応じた人員配置を通して、人材育成と組織の活性化を図ると共に、授業力・児童指導力の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・「よい授業」を見る機会を積極的に設けることを通じて授業力の向上に努める。【継続】 ・児童指導案件に協働的に取り組むことを通じて、各自の児童指導力の向上に努める。【継続】 ・校長室通信を通しての指導については、管理職による授業視察を充実させることを通じて、より具体的な指導を行うことに取り組む。